

令和 2年 9月

小林 恵理 学位論文審査要旨

主 査 加 藤 雅 彦
副主査 南 前 恵 子
同 萩 野 浩

主論文

Age-related changes in muscle elasticity around the shoulder joint in young male baseball players: A prospective longitudinal study

(若年男子野球選手における肩関節周囲筋弾性の年齢に伴う変化：前向き縦断研究)

(著者：小林恵理、松本浩実、林育太、尾崎まり、萩野浩)

令和2年 Journal of Orthopaedic Science 25巻 582頁～587頁

参考論文

1. 変形性膝関節症患者の足部形態と転倒との関係

(著者：小林恵理、萩野浩)

令和2年 理学療法科学 35巻 23頁～28頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は学齡期の野球選手を対象に、share wave elastographyを用いて肩関節周囲筋の組織弾性の評価を行い、その成長期における変化、及び筋弾性と痛みの発生との関連について検討した。その結果、投球側の筋組織の弾性は13歳から16歳で階段状に高くなり、17歳から18歳でピークとなる傾向が見られたが、年齢と肩関節痛の有症率とは関連がなかった。また投球側の疼痛を誘発する因子として、投球側の棘上筋の弾性が低いことが示唆された。本論文の内容は、スポーツ障害予防の分野で、share wave elastographyによる筋弾性の評価の有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。